

4 食育を支える取組



食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

(1) 食育にかかる人材の育成と活動の充実



県民一人一人の主体的な取組がより効果的なものとなるよう、その取組を支援する人材の育成と活動の充実に取り組みました。

「全国都市緑化あいちフェア」で、愛知県食育推進ボランティアが大活躍～秋の実りを味わう「親子料理教室」、食について楽しく学ぶ「食育広場」～

愛知県

●実施時期：平成28年10月17日、18日

●対象者：県民

●内容

「第32回全国都市緑化あいちフェア」の第3楽章「“食”～深まる秋～」(10/13～11/1)の体験プログラムとして、2つの食育イベントを開催。

「親子料理教室」は、名古屋文化短期大学教授で食育推進ボランティアでもある鳥居久雄教授を講師とし、煮味噌等3品を親子で実習しました。

「食育の広場」は、愛知県食育推進ボランティア7グループ31名が、食に関する紙芝居、ゲーム、クイズ、カルタ、絵本の読み聞かせ、海苔巻き実習を行いました。



●活動の成果、今後の課題

2日間で、「親子料理教室」22組51名、「食育の広場」674名の参加がありました。

「食育の広場」は、7グループが、食品の分類や栄養バランス、朝ご飯の必要性、「嘸む」ことの大切さ等を手作りアイテムを使って楽しく学んでもらいました。

大規模のイベントでの経験は、その後の活動の自信につながったようです。



(取組項目：愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実)

(取組場面：地域)



食育活動に取り組む農林関係指導者の育成と活動促進

愛知県漁業士協会、愛知県

●実施時期：平成27年度

●対象者：県内漁業者

●内容

「漁業士」は、模範的な漁業経営を行い地域の指導的な役割を果たす漁業者として、県が認定した方々で、その団体である愛知県漁業士協会は、魚食普及活動を長年行っています。

平成27年度は、愛知学泉短期大学で、栄養に関する科目を履修している学生を対象に、魚のさばき方や魚料理などを講習し、約54人の参加がありました。

●活動の成果、今後の課題

子供の食育を担う栄養士の卵を対象に、県産水産物の美味しさや漁業者の取組を伝えることができました。今後も引き続き事業を実施していく必要があります。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：学校・地域〉

食の活動拠点 とまと記念館

東海市 東海市健康づくり食生活改善協議会 NPO Let's 食の絆

●実施時期：通年

●対象者：東海市民

●内容

東海市では、平成26年4月「東海市トマトで健康づくり条例」が制定され、身近で健康に良いトマトを使った健康づくりを推進しています。

その一環として食の拠点「とまと記念館」を平成26年11月に開館。食生活改善推進員と管理栄養士が中心となりトマトにこだわった健康ランチを提供しています。

野菜がたっぷりとれ、バランスの良い健康メニューを提供し、市民の方が食することで健康づくりの実践の場となっています。

営業時間は毎週木・金・土曜日（午前11時～午後2時）です。

●活動の成果、今後の課題

リピーターも多く、また他市からも来所されるなど連日賑わっています。提供しているメニューを家庭でも作ることができるようレシピカードも配布しています。

最近では、地元野菜の販売も始め、地産地消の役割も担っています。今後はPRを強化し、多くの方に食べにきていただける工夫が必要です。



〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉

〈取組場面：地域〉

なんの花かな？クイズカード

公益財団法人 愛知県学校給食会

●実施時期：平成28年3月 ●対象者：栄養教諭・学校栄養職員

●内容

愛知県で出荷量の多い野菜や果物（35種類）の花の写真から野菜や果物の名前を当てるクイズカードです。

学校の食育指導用教材として給食時間など短い時間でも利用できるもので、表面に野菜・果物の花の写真、裏面の野菜・果物、断面写真などを載せたクイズカードで、指導者用にクイズヒントや産地、特徴等を載せたマニュアルもあります。基本的には当財団HPに載せ、ダウンロードし、印刷して使用していただくものです。

詳細については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://aigaku.org/>



●活動の成果、今後の課題

食育活動に利用していただくように啓発していきます。

〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：学校〉

野菜料理プラス一品の取り組み

岩倉市、食生活改善推進員

●実施時期：通年 ●対象者：岩倉市民

●内容

昨年度に引き続き、野菜料理のレシピ集「季節の野菜料理 プラス1品集（第2弾）」（A4版）を作成しました。H27.6月から広報（毎月1日号）で1品ずつ紹介しています。

また、商工農政課を通じて、「JA産直センター」や駅地下で開催される「野菜の広場」で季節毎に分けて作成した同レシピ集（A5版）を買い物客に配布して頂いています。



●活動の成果、今後の課題

保健センターを利用する人以外にも広く、食生活改善推進員の活動のPRや野菜料理の提案ができたと思います。

今後は、地場産の野菜生産者側と作り手ボランティアである食生活改善推進員が顔の見える関係を作り、生産者と消費者とのニーズや思いが伝わる支援ができれば良いと思います。



〈取組項目：食育推進資材の作成や調査・検定の実施〉

〈取組場面：地域〉

(2) 関係者の役割分担とネットワークの充実



地域に根ざした食育を効果的に推進するため、多様な関係者が各々の強みを活かし役割分担した上で、相互に連携して活動に取り組みました。

いちじく畑の見学

あいち尾東農業協同組合、尾張旭市

●実施時期：平成27年9月4日、11日、17日、24日

●対象者：尾張旭市内小学生

●内容

尾張旭市特産品のいちじくの畑を見学してもらい、小学生のみなさんにどのようにいちじくが育って、つくられているのかを見てもらいました。

いちじく農家や農協の職員が先生となり、いちじく栽培について説明をしました。

城山小学校、旭小学校、東栄小学校、瑞鳳小学校の4校が参加。



●活動の成果、今後の課題

実際の畑を見て、子どもたちは積極的にいちじくについての質問をしたり、熱心にメモやスケッチをしていました。

特産品のいちじくを知ってもらうきっかけとなり、作物がどのように育ってそこにはどんな苦労があるのかを知ってもらうことができました。

(取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進)

(取組場面：地域)

スーパーマーケットでの野菜を食べようキャンペーン

北名古屋保健センター

●実施時期：平成27年6月7日、10日

●対象者：北名古屋市民

●内容

野菜摂取を増やすための啓発活動として、市内のスーパーマーケットにて啓発物の配布、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)によるコールスローサラダの試食提供、のぼり旗の設置、フードモデルによる目標量の啓発などを行いました。

●活動の成果、今後の課題

市のイベントや講演会等になかなか参加できない方に啓発することができました。

企業やボランティア等と協働することで、行政だけでは行えない活動ができ、次につなげていきたいと思えます。



(取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進)

(取組場面：地域)

第35回蒲郡市農林水産まつり&食育フェスタ

蒲郡市農林水産まつり実行協議会

●実施時期：平成28年2月6日、7日 ●対象者：蒲郡市民

●内容

蒲郡市の農水産物を即売する農林水産まつりにおいて、日頃の食生活を見直す機会を創出するため、食育フェスタを同時開催しています。

当日は、愛知学泉大学、食生活改善協議会、JA蒲郡市、蒲郡栄養士会、コープあいちの5団体に出展いただき、箸を使った豆運びゲームや、味覚チェック、食に関するクイズ等さまざまな企画を実施しました。



●活動の成果、今後の課題

当日は、高齢の方やお子様連れのご家族など幅広い年齢層の方々にご来場いただきました。

今後も食育に関わる団体と協力し、継続的に実施していく予定です。



〈取組項目：地域の活動主体同士の連携企画の促進〉

〈取組場面：地域〉

旬の野菜を使ったレシピを市の公式ウェブサイトへ掲載

安城市

●実施時期：平成27年7月～ ●対象者：安城市民

●内容

愛知県民の野菜摂取量平均値が全国最下位の結果を受け、野菜摂取量の向上と地産地消を推進するために、旬の野菜を使ったレシピを市公式ウェブサイト「望遠郷」に毎月一度掲載しました。掲載レシピ・写真については、コープあいち西三あおみ地区食と健康アドバイザーに提供していただきました。



●活動の成果、今後の課題

ウェブサイトは手軽にレシピを見られるので、多くの方に見ただけでした。通年、様々な野菜がスーパーに出回るため、野菜の旬の時期が分からなくなっている中で、旬の野菜を知る良い機会になりました。



〈取組項目：食育に関する情報発信の充実〉

〈取組場面：地域〉

(3) いいともあいち運動の推進



県内の消費者と生産者が相互理解や交流を深めたり、地産地消をすすめることで、県民のみんなで県の農林水産業を支えていこうという、いいともあいち運動の推進に取り組みました。

いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県

●実施時期：通年 ●対象者：県民

●内容

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しました。

また、県のWEBページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマーク商品情報を掲載し、シンボルマークを表示した商品について、広く県民にPRしました。

●活動の成果、今後の課題

平成26年度までに使用された449商品に加え、27年度は、名古屋コーチンを使用した惣菜パンなど、新たに102商品にシンボルマークが使用されました。今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の認知度の向上〉

〈取組場面：地域〉

あいちの農林水産物 PR強化月間

～あいちをあいちでいただくぜ～

愛知県

●実施時期：平成28年2月 ●対象者：県民

●内容

産出額等が全国トップレベルの名古屋コーチン、花、抹茶、あさり、うなぎ、きぬあかり（小麦）をリーディング品目としてパッケージ化し、知名度の向上を図るため、平成28年2月をあいちの農林水産物のPR強化月間と位置づけ、「いいともあいち運動」のもとに、名古屋市営地下鉄やリコモでの広告や、WEBサイト「あいちは、あいちで、いただくぜ！」の作成を行い、愛知産の品目横断的な情報発信に取り組みました。

また、「見て、聞いて、触れて、食べて」愛知の農林水産物の魅力を感じてもらえるよう、愛知県を5つのエリアに分けて、収穫体験や地元の食材をふんだんに使った食事、生産者から直接お話しが聞ける体験バスツアー及び県産農林水産物やその加工品を提供する移動販売を県内で開催されるイベント会場で実施しました。

●活動の成果、今後の課題

愛知の農林水産業が生産者や流通・加工現場での努力や工夫に支えられ、各地域での特徴を活かした、とても魅力的なものであることを体験してもらうことができ、PRすることができました。



〈取組項目：県産農林水産物の利用拡大〉

〈取組場面：地域〉